

一橋大学社会学部連続市民講座

2018

共生とは何か？—繋がる社会、切り離される世界—

一橋大学社会学部では、2018年4月から全4回の連続市民講座を行います。今回は、「共生とは何か？ 繋がる社会、切り離される世界」を共通のテーマとして、4月から7月まで一ヶ月に一回のペースで、社会学部の教員4名が講座を担当します。

近年、「共生」や「連携」、「シェア」や「ネットワーク」といった言葉が盛んに用いられるようになりました。私たちが生きる社会はより密接なつながりを作ろうとしているように見える一方で、地理的に遠く離れた人々だけでなく身近な場所で暮らす他者との間にも様々な齟齬・対立・無関心が増大しているようにも思われます。

本講座では、社会学部の学際的で総合的な特徴を生かし、社会哲学、地理学、歴史学、言語学などの幅広い観点から、各分野の専門家である教員が「共生」をめぐる諸問題に切り込み、わかりやすい言葉でお伝えします。

3回以上出席の受講者の方には、修了証を発行します。多くの市民の皆様のご参加をお待ちしています。

■ 2018年度 講座一覧(講座の題目は予定であり、変更する場合があります。)

	月 日	講 師	タ イ ト ル
第1回	4月21日 (土)	大河内泰樹 教授	闘争と共生—社会哲学の観点から
第2回	5月19日 (土)	上田 元 教授	東アフリカ—共生と開発
第3回	6月16日 (土)	加藤 圭木 准教授	日本・朝鮮半島の「共生」と歴史認識—3・1 独立運動100年(2019年)をどう迎えるか—
第4回	7月21日 (土)	五十嵐陽介 准教授	日本語と琉球語

会場/時間

兼松講堂(一橋大学国立西キャンパス)

時間: 13:30~15:00(質疑応答約15分を含む。)

参加方法

参加は、無料。どなたでも入場できます。

当日、直接会場までお越しください。

問合せ先

一橋大学社会学部事務局

住所: 東京都国立市中2-1

TEL: 042-580-8212

E-mail: info@soc.hit-u.ac.jp



一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

協力/一橋新聞

一橋大学社会学部連続市民講座、第10シーズンをおおくりします。過去9シーズンで繋いできたキーワード——現代、市民、つながり、グローバル、常識、戦争、再生、ニッポン、周縁——ここに今年、「共生」が加わります。一橋大学社会学部は、21世紀を生きる私たちが「いま・ここ」でどのような問題・課題群に直面しているか、それらがどのような姿をし、組成・構造をもち、背景・歴史をもち、それらの解消・解決をどのように見通せるかを、この講座をとおして多面的に考察、議論し、発信してきました。こうした講座は社会学部の多様性ゆえにこそ、つまり、多岐にわたって活発な研究・教育活動が続ける様々な学問分野の研究者集団だからこそ担うことができるのだと自負しております。本年は会場である兼松講堂の改修のため、短縮日程での開催になりますが、これまでもましてみなさたと実りあるひとときを分かち合うことができますよう努めてまいりたいと思います。



安川 一
一橋大学社会学部長

講座担当教員

大河内 泰樹 (おおこうち たいじゅ) 教授

専門は近代哲学。19世紀の哲学者ヘーゲルと現代におけるヘーゲル主義について研究。最近に生命、言語、規範の関連について考えている。主著等に『存在論と反省規定』（ドイツ語）、「『ドイツ観念論』とはなにか？—あるいは「ドイツ観念論」はなぜそう呼ばれるべきではないのか？」（『ニクス』第2号、堀之内出版、2015年）など。担当科目、「社会哲学」「哲学特論」など。

上田 元 (うへだ げん) 教授

専門は、東アフリカ地域研究、人文・社会地理学。ケニア・タンザニアにおいて、農村の資源・土地利用と社会経済変化、都市の雇用・居住・生活環境の問題を研究。主著等は『山の民の地域システム—タンザニア農村の場所・世帯・共同性』東北大学出版会、『アフリカ』朝倉書店など。担当科目は「地域研究」「社会開発論」など。

加藤 圭木 (かとう けいき) 准教授

専門は朝鮮近代史。日本による朝鮮侵略・植民地支配の経験を、一つ一つの村や人びとの生活の視点から研究しています。主著は『植民地朝鮮の地域変容—日本の大陸進出と咸鏡北道』吉川弘文館、『歴史を学ぶ人々のために—現在をどう生きるか—』（共著）岩波書店など。担当科目は、「アジア社会史総論A」「社会史史料講読（アジア）A」など。

五十嵐 陽介 (いがらし ようすけ) 准教授

専門は日本語、琉球語、ロシア語を対象とした言語学・音声学。言語の音の仕組みを明らかにする研究とともに、言語が何世紀もかけて変化する過程を明らかにする歴史言語学的研究を行う。主著にTypology of intonational phrasing in Japanese dialects, Prosodic Typology II, Oxford Univ. Press. 担当科目は「ことばと社会」「社会言語学」など。